

Ver	リリース	内 容
1.9.6.4	2023年11月	[PDF 出力全般] ・ファイルの出力を改善した。
1.9.6.4 LINUX	2023年12月	[PDF 出力全般] ・ファイルの出力を改善した。
1.9.6.0	2021年11月	[全般] ・文字枠の機能改善した。
1.9.6.0 LINUX	2021年11月	[全般] ・文字枠の機能改善した。
1.9.5.7	2021年5月	[IOCELA] ・空行の処理を改善した。
1.9.5.7 LINUX	2021年5月	[IOCELA] ・空行の処理を改善した。
1.9.5.2 LINUX	2020年1月	[全般] ・Java の処理を改善した。
1.9.5.1	2019年7月	[全般] ・令和元号に対応した。
1.9.5.1 LINUX	2019年2月	[全般] ・Open JDK 11 に対応した。 ・令和元号に対応した。
1.9.5.0	2018年10月	[全般] ・Open JDK 11 に対応した。
1.9.2.9 LINUX	2015年3月	[全般] ・64bit 版の PDF 出力を改善した。
1.9.2.8	2015年3月	[全般] ・32bit 版インストーラを MSI 形式に変更した。 ・64bit 版の印刷処理を改善した。
1.9.2.6	2013年12月	・カスタマバーコードの作成処理を改善した。
1.9.2.4 LINUX	2012年11月	[IODtoPDF] ・半角と全角が混在する文字列の変換において、環境に因る文字化けを抑制した。
1.9.2.3	2012年9月	[全般] ・インストール後のモジュール動作環境を見直した。 [IODtoPDF] ・欧文フォントや可変長フォントの変換処理を改善した。
1.9.2.2 UNIX/LINUX	2012年7月	[IODtoPDF] ・フォントの埋め込み処理を改善した。
1.9.2.1 DotNET-IF 1.9.1	2010年11月	[IODtoIMG] ・色数が少ない環境での TIFF への変換処理を改善した。 [DotNET-IF] ・32,64bit 共にインストーラ形式を変更した。 ・IOWebDOC V1.9.1 以上に対応させた。
1.9.2.0	2010年7月	[全般] ・オーバーレイページにあるオブジェクトの PDF への出力方法を変更した。 [IODtoPDF] ・マルチスレッド処理を改善した。
1.9.1.2 COM-IF 1.9.1	2010年3月	[IOCELA] ・パターンを色に置き換える機能を追加し、枠内の塗りつぶし表現の選択肢を増やした。 ・パターンに対して、線の出力を前面 / 背面のどちらにするかを指定できるようにした。 [COM-IF] ・モジュールファイル名及び、内部リソースを変更した。(Vista/7/2008 対策の為) ・IOWebDOC に合わせてファイル構成を変更した。 ・IODtoPDF クラスに機能追加。

Ver	リリース	内 容
1.9.1.0	2008年7月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2008/ Windows Vista に対応した。 ・ 64bit モジュールを追加した。 ・ GIF 形式の画像ファイルに対応した。 ・ 一部の PNG ファイルに対して読み込み処理を改善した。 <p>[IODOC]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Vista のクラシックモード時において、グリッドの表示を改善した。 ・ グループをコピーした際の操作対象レイヤへの反映を改善した。 ・ 選択モード時のコピー・移動操作関連を改善した。 ・ EAN128 バーコードのデータ文字列の出力方法を変更した。 <p>[IODtoPDF]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IOD のリストを複数選択できるようにした。
1.8.5.3	2008年11月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スレッド関連の同期処理全般の見直しをした。 ・ ハイパースレッティング対応機に対応した。 (マルチコア / マルチ CPU/ ハイパースレッティング環境で動作させる場合、1.8.5.3 以上のバージョンを推奨)
1.8.5.2	2008年3月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ センタリングの書式に、データを与えない場合に起こるブランク問題を改善した。
1.8.5.0	2007年7月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 書式に数値書式のセンタリングを追加した。
1.8.4.0	2007年6月	<p>[IOCELA]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出力時のフォントを変更できるようにした。 (IOCNV データ形式の段階でフォントを指定)
1.8.3.1	2007年5月	<p>[IODOC]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルを開いた後の初期モードを変更した。 ・ 色選択ダイアログ全般で、元々選択されていた色を初期表示するようにした。 <p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定のパターン文字列を出力する場合において、出力処理を改善した。 ・ 文字列の文字間隔設定時に起こる問題を改善した。 <p>[IODtoPDF]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IOD 内のオーバーレイページ及び下図に配置してある画像は、2 ページ目以降参照情報のみを出力するように変更し、ファイルサイズが小さくなるようにした。
1.8.3.0	2007年4月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リンク機能を追加した。
1.8.2.2	2006年11月	<p>[IODOC]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 埋め込みデータ形式を変更した。
1.8.2.1	2006年10月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PDF 内のパターンオブジェクトの出力処理を改善した。
1.8.2.0 COM-IF 1.1.1	2006年3月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マージンと縮尺を設定する機能を追加した。 <p>[Java-IF]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バイト配列取得メソッドのエンコード指定に対応した。 <p>[COM-IF]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IODtoPDF クラス使用時のメモリーク問題を改善した。
1.8.1.0 COM-IF 1.1	2005年11月	<p>[IODOC]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文字枠を含んだ複数オブジェクトの一括属性変更時の挙動を改善した。 <p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ csvdoc CDD editor で識別子に設定可能なバイト長を増やした。 ・ ボールド属性のある埋め込み文字の表示を改善した。 <p>[COM-IF]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IOWebDOC V1.1.4.2 以上がインストールされていることを条件とした。 ・ webdocmem クラスに、文字枠のデータを設定する関数を追加した。
1.8.0.0	2005年7月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IOWebDOC のインストールに Java-IF も含まれるようにした。 ・ バーコードのフォントを指定可能にした。 ・ EAN128 (CVS)バーコードに対応した。 ・ 上記対応に伴い IOD/DLF ファイル形式を更新した。(V4.8形式) ・ セキュリティを設定し、フォント埋め込みした文字列の出力処理について改善した。

Ver	リリース	内 容
1.7.2.0	2005年6月	[全般] ・パターン出力方法を改善した。
1.7.1.0	2005年6月	[全般] ・DLL 及び EXE ファイルにデジタル署名を付けるようにした。 ・パターン指定オブジェクトの出力方法を改善した。 ・出力される PDF ファイル形式のバージョンをアップした。
1.7.0.0	2005年1月	[IODOC] ・旧バージョン互換の為、「ページ数書き込み」及び「バーコードバー幅一括微調整」の引数に対応した。 ・バーコード幅の微調整をする関数を追加した。 [全般] ・実行環境と異なる言語のフォントの埋め込みができるようにした。
1.6.6.0	2004年9月	[全般] ・一部の数値書式に特定のデータを与えた際の結果を改善した。
1.6.4.0	2004年3月	[全般] ・G3 TIFF マルチページ指定での出力処理を改善した。 ・G3,G4 TIFF 出力時の、解像度値を変更した。 ・TIFF の解像度 TAG 出力形式を一部変更した。 ・文字枠のデータを設定する関数でエスケープ文字をエンコードするようにした。
1.6.3.0	2004年1月	[IODOC] ・CODE128 バーコードのコードセットのチェックキャラクタの計算方法を改善した。
1.6.2.0	2003年10月	[全般] ・外字を埋め込む(デフォルト)設定で、ファイルに外字フォントが含まれていない場合の埋め込み処理を改善した。
1.6.1.0	2003年9月	[全般] ・PDF へのフォント埋め込み機能を追加した。 [IODtoPDF] ・ヘッダのみしかない IOD はエラー扱いにした。
1.5.6.0	2003年7月	[IODtoIMG] ・TIFF 出力で G3 の場合のみ、出力するタグ情報を追加した。
1.5.5.0	2003年7月	[IODOC] ・用紙サイズの設定で用紙方向の設定を改善した。 ・線分の描画を改善した。 ・マルチページの TIFF 出力で、圧縮処理を改善した。 ・TIFF 出力で、一般的なタグ情報の出力に対応した。
1.5.4.0	2003年5月	[IODOC] ・バーコードとグラフの描画速度を改善した。
1.5.3.0	2003年5月	[IODtoPDF] ・特定の設定下において文字列の変換処理を改善した。 ・ファイルダイアログ表示時のフィルタ設定を改善した。
1.5.2.0	2003年5月	[IODOC] ・等幅フォントを指定した長い文字列の表示、及び印刷位置のずれを改善した。 ・文字列をベクタ化した時の文字間の設定について改善した。
1.5.1.0	2003年4月	[IODOC] ・オブジェクト選択時の挙動について改善した。 ・性能の低いビデオドライバ環境の対応で、BMP を取得する関数の処理を改善した。 (但しディスプレイの設定により結果が異なる)

Ver	リリース	内 容
1.5.0.0	2003年2月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字枠に以下の属性を追加した。 倍角 / 文字飾り / 文字間隔(全角、半角) / マージン値 / マージン位置(上下左右) / マージン値で枠を描画 上記対応に伴いIOD/DLFファイル形式を更新した。(V4.5形式) 日付書式の日本語表示に特定の曜日を使用した場合の動作を改善した。 予約識別子の一覧に 2 から始まるページの識別子を追加した。 日付書式の設定画面にサンプルボタンを追加して一般的なものを選べるようにした。 文字枠の属性設定画面を、テキストの属性画面の別タグにして、文字の共通属性設定画面と共有するようになった。その他文字枠自体の属性設定を追加した。 オブジェクトを入れたクリッピングの処理を改善した。 <p>[IOCELA Tool]</p> <ul style="list-style-type: none"> ブロック設定の表示単位属性に、『直前データと同じ[=]』を設定したときの処理を改善した。 <p>[IODOC Runtime]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日付書式に特定のデータを指定した場合の動作を改善した。 <p>[iodtopdf]</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の Y 座標の位置を調整した。 <p>[iodmake]</p> <ul style="list-style-type: none"> IOD へ変換時に文字枠の文字の色の設定が常に黒になってしまう問題を改善した。
1.3.1.0	2002年9月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きいサイズの TIFF を読み込めるように改善した。 <p>[IOCELA Runtime]</p> <ul style="list-style-type: none"> データ件数が 0 の場合に不正な結果が出力される問題を改善した。 <p>[CSVDOC Runtime, iodtopdf]</p> <ul style="list-style-type: none"> 別関数で開いたログファイルを、ハンドルを解放する関数にてクローズされるようにした。
1.3.0.0	2002年7月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> IOCELA/IODOC の用紙サイズを統一した。 フォーマットファイルのファイル名及びファイル形式を変更した。 日付と時間書式機能を追加した。 上記対応に伴い IOD/DLF ファイル形式を更新した。(V4.3 形式) 一部の 32 ビット BMP に対応した。 古いバージョンの レイアウトファイルを読み込めるようにした。 項目の個数を指定する作成で何も指定しないで実行すると、アプリケーションエラーになる問題を改善した。 B4 以上の大きさの用紙サイズでランタイムとのずれを無くした。 グレースケール JPEG に対応した。 印刷設定画面をプリンタドライバから情報を取得して内容を表示するように変更した。 IOD ファイルを開き何も変更せずに上書き保存した場合、中間ファイルが残らないようにした。
1.2.0.0	2001年11月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次元機能バーコードに対応した。 上記対応に伴い IOD/DLF ファイル形式を更新した。(V4.2形式) ブレイク詳細が複数存在する特定のパターンの場合におけるデータの出力について改善した。 特殊な図形の PDF上での表示を改善した。 <p>[IODtoPDF]</p> <ul style="list-style-type: none"> パレット配置が白白または黒黒のモノクロ BMP を含む IOD を PDF 変換すると、正しく変換されない場合がある問題を改善した。 PDF 変換で下図が変換されなかったので改善した。 チェックボックス「変換後に開く」を追加した。
1.1.4.4	2002年9月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定したログがクローズされない問題を改善した。 <p>[IODtoPDF]</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定したログがクローズされない問題を改善した。
DotNET-IF 1.0 COM-IF 1.0.7	2002年1月	<p>[IOCELA]</p> <ul style="list-style-type: none"> ページ数ファイル名の引数を追加した。 出力したページ数を取得する関数を追加した。 <p>[DotNET-IF]</p> <ul style="list-style-type: none"> モジュールを新規リリースした。 <p>[COM-IF]</p> <ul style="list-style-type: none"> IOWebDOC V1.1.4.2 以上に対応させた。 インストーラの画面を変更した。 ライセンス入力における問題を改善した。 webcela クラスに出力したページ数を取得関数を追加した。

Ver	リリース	内 容
1.1.4.1	2001年12月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値書式で末尾への符号指定を追加した。 <p>[IODtoPDF]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IOD を PDF に変換する関数を、複数スレッドから同時に呼び出した場合の処理において改善した。 ・ログファイル名を設定する関数を複数回呼び出した場合の処理において改善した。
1.1.4.0	2001年9月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像ファイルを開いた場合に下図の設定が、取り込み画像になるようにした。 ・CSV ファイル読み込み時に 2 バイト文字を認識するようにした。 <p>[IODtoPDF]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリッピング処理の不具合を修正した。
1.1.3.2 SP1	2001年9月	<p>[IODOC]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗りつぶしの色を指定できるようにした。 <p>[IOCELA]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブレイク詳細が複数存在する、かつブレイクの表示行がページの最終行に来た場合に、アプリケーションエラーになる現象を改善した。 <p>[COM-IF]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正常終了時の中間ファイル処理を改善した。
1.1.3.2	2001年5月	<p>[IODOC]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オブジェクト作成時の追加位置(先頭または最後)を設定する IDA の関数を追加した。 ・ファイル(データ)インターフェースに新規図形作成時のモード(上下関係の指定)を追加した。
1.1.3.0	2001年3月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TIFF G4 及び PNG の画像形式に対応した。 <p>[IODOC]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バーコード CODE128 に対応した。 ・上記対応に伴い IOD/DLFファイル形式を更新した。(V4.1.3.0 形式) <p>[IODtoPDF]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GUI モードでも文書情報、セキュリティ情報を設定できるようにした。 ・画像で出力していた白塗りや黒塗りをパターンで出力するようにした。
1.1.2.1	2001年1月	<p>[IOCELA]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終ページにブレイク項目のみが来る場合の罫線の出力を改善した。
1.1.2.0	2000年11月	<p>[IODOC]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字枠の文字の色、及び行間の設定関連を改善した。 ・共通属性変更で線幅の直接入力反映されるようにした。 ・固定文字にも名前を設定できるようにした。 ・スプライン曲線によるオブジェクト描画を改善した。 ・PDF ファイルの出力に対応した。
1.1.1.0 COM-IF 1.00.2	2000年9月	<p>[全般]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイパーリンクの機能を追加した。 <p>[IODOC]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレビューでテストデータ作成時にページを指定できるようにした。 ・IOD ファイルに以下の機能を追加した。 暗号化 / 圧縮 / 画像ファイルの取り込み / 全角文字コードの埋め込み ・[元に戻す]処理の挙動を改善した。 <p>[IODtoPDF]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメント指定、及びセキュリティ指定の機能を追加した。 <p>[COM-IF]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・webdocmem クラスで複数ページの処理に対応した。